

令和4年4月15日

ジャパンビーチゲームズフェスティバルお台場実行委員会

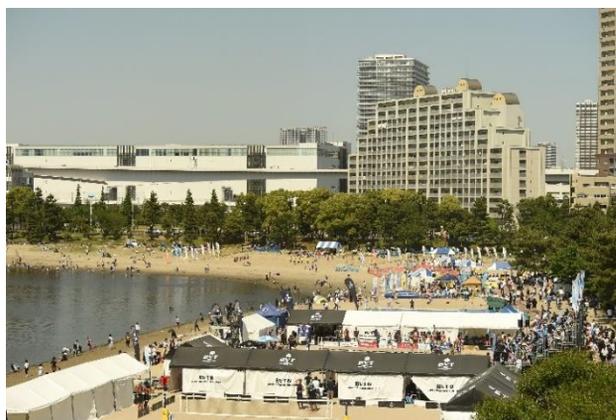
東京2020オリンピック・パラリンピックレガシー

全17種類のビーチ・マリンスポーツが“3年ぶり”にお台場に集結！

5月3日(火・祝)～6日(金)お台場海浜公園おだいばビーチにて
『JAPAN BEACH GAMES®Festivalお台場2022』を開催いたします。

NPO法人日本ビーチ文化振興協会(代表理事 遊佐雅美 所在地:東京都中央区新川)は、5月3日(火・祝)～6日(金)まで東京都お台場海浜公園おだいばビーチ(東京都港区)にてビーチゲームズ日本招致プロジェクト『JAPAN BEACH GAMES® Festivalお台場2022(ジャパンビーチゲームズフェスティバルお台場2022)』を3年ぶりに開催いたします。

本大会は、2008年(インドネシア・バリ)から2年(2016年から4年毎に改正)に一度開催されているビーチスポーツ、マリンスポーツ、ハイブリッドスポーツの国際大会「アジアビーチゲームズ」(アジアオリンピック評議会主催)、2019年(ドーハ)開催された「ワールドビーチゲームズ」(国内オリンピック委員会連合主催)を日本に招致する啓発活動の一環として、各種ビーチ・マリンスポーツの公式戦を集結したイベントです。



ジャパンビーチゲームズ®フェスティバルお台場2018 会場

東京2020オリンピック・パラリンピックの「トライアスロン」会場であった「おだいばビーチ」をイベント会場とし、全17種類のビーチ・マリンスポーツが一同に集結し白熱したゲームが繰り広げられます。また、魅了するだけでなくその場で体験できる場も設け、更にスポーツの楽しさを体感いただく事で、ビーチの気持ちよさ、ビーチスポーツの魅力を堪能できる内容となっております。

また、東京2020オリ・パラ会場であった場所で5月5日子どもの日には、ファミリーで気軽に参加できるプログラムも加味し、中でも話題沸騰中のフィンランド発祥スポーツ「モルック」や「ビーチサン跳ばし」「ビーチフラッグス」「フライングディスク」、綱渡りとトランポリンを合わせたスポーツ「スラックライン」国内のトップアスリート選手が指導する「ビーチバレーボール」「ビーチテニス」「ビーチサッカー」などのスクールも実施し、延べ17種類のスポーツを無料体験することができます。

開催期間中は「心のバリアフリー」企画として、どなたでも海辺で楽しく過ごせるように、砂浜にゴムマットを設置し、車椅子で生活されている方、視覚に障害がある方も砂浜へ1歩踏み出しやすくなる仕組みとなっており、車いすバスケットボールやポッチャも体験できます。まさにオリ・パラレガシーとしてお台場から「スポーツ普及と国際大会日本招致」の発信を致します。

全プログラム紹介<ビーチ・マリンスポーツ 17種>



ビーチバレーボール



ビーチテニス



ビーチサッカー



フレスコボール



スラックライン



ビーチウッドボール



ビーチフラッグス



テックボール



トライアスロン



フライングディスク



モルック



ビーサン跳ばし



ビーチリトミック (ビーチde太鼓・リボン体操)



コースタルローイング



車いすバスケット



ボッチャ



ビーチチア&ダンスコンテスト

■ 5月5日こどもの日は『こどもビーチ』の日はだして元気に遊ぶおだいばビーチパーク！

5月5日(木・祝)は「こどもビーチ」と称し、「ビーチサン跳ばし」や、音楽に合わせてリボンや太鼓を使いダンスをする「ビーチリトミック」、ご家族みんなで手軽に楽しめる「モルック」等、小さなお子様から大人の方まで楽しめるビーチ・マリンスポーツの無料体験が盛りだくさんとなっています。

ステージでは、子ども達が活躍する「ビーチチア&ダンスコンテスト(JBGFお台場2022)」が開催され、イベント会場をダンスパフォーマンスで盛り上げてくれます。また、波打ち際には、「シャボン玉遊び」や「砂遊び」を楽しめるよう数量限定で遊具をプレゼントいたします。

■ 心のバリアフリー

「心のバリアフリー」とは、街や施設の作り方だけではなく、「困った時にすぐ声を掛ける」「手助けをお願いする」といった心のバリアを無くして支え合うことを言います。ハンディキャップがある方々にとってビーチ・海に行くことは気軽な場所ではなく遠い存在にありますが、潮風と海が広がる自然の中で開放的になり、気軽に人と接する事ができる場所もビーチの十分な魅力です。「心のバリアフリー」の習慣をスポーツを活用して育むことを目的としています。

また、イベント期間中(5月4日、5日)は砂浜の一部に専用のゴムマットを敷き、車椅子バスケットボール元日本代表キャプテンであり、パラリンピアン根木慎志氏(公益財団法人日本財団パラスポーツサポートセンター)がイベント参加します。



元車椅子バスケットボール
日本代表キャプテン
根木慎志氏



提供：NPO法人湘南バリアフリーツアーセンター



BLUE BEACH PROJECT



■ ブルービーチプロジェクト ＜SDGs14.海の豊かさを守ろう＞

2008年よりビーチを活用するスポーツアスリートを中心に、温暖化による海辺の浸食や増え続ける海洋ゴミ問題に直面し、「島国日本の大切な海辺を大切に保全し、美しい環境を継承しよう！」という志から「ブルービーチプロジェクト」をスタートしました。「拾う！出さない！持ち帰る！」をテーマに会場内ではビーチクリーン活動を行っています。当会では、ゴミを入れても砂だけ落ちるメッシュ素材のオリジナルエコバックを参加者に無料配布してゴミの持ち帰り習慣を促しています。

【実施概要】

- 名称** : JAPAN BEACH GAMES® Festival ODAIBA 2022
- 開催日程** : 2022年5月3日(火・祝)～5月6日(金)(4日間) 10:00 ～ 16:00
- 実施会場** : お台場海浜公園おだいばビーチ (東京都港区台場1-4-1)
- 入場料** : 無料
- 主催** : ジャパンビーチゲームズフェスティバルお台場実行委員会
(英表記: JAPAN BEACH GAMES Festival ODAIBA実行委員会)
- 共催** : 一般財団法人みなと総合研究財団
- 後援** : 国土交通省、環境省、観光庁、スポーツ庁、東京都、港区、
一般社団法人東京臨海副都心まちづくり協議会、
東京臨海副都心グループ(株)東京テレポートセンター、東京港埠頭(株)、(株)東京ビッグサイト、
(株)ゆりかもめ、東京臨海熱供給(株)、公益財団法人日本健康スポーツ連盟
- 協力** : 公益財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団、
特定非営利活動法人湘南バリアフリッツアーセンター、公益財団法人日本財団ボランティアセンター
- プログラム** : <ビーチ・マリンスポーツ>観戦/体験 ※ビーチ・マリンスポーツ15種目
ビーチバレーボール、ビーチテニス、ビーチサッカー、フレスコボール、スラックライン、
ビーチウッドボール、テックボール、フライングディスク、トライアスロン、コースタルローイング、
ビーチフラッグス、ビーサン跳ばし、モルック、ビーチリトミック(ビーチde太鼓、ビーチdeリボン
体操)、ビーチチア&ダンスコンテスト(ステージイベント)
- <心のバリアフリー>体験 ※2種目
車椅子バスケットボール、ポッチャ
- <海岸防災>体験
遊佐雅美の海辺の安全教室
- <SDGs14.海の豊かさを守ろう>体験
ブルービーチプロジェクト(ビーチクリーン)

■プレスリリース配信/問合せ先

NPO法人日本ビーチ文化振興協会

広報担当: 吉澤頌平(しょうへい)

e-mail: shohei@jbeach.jp

TEL:03-3552-1171

FAX:03-3552-1220



イベント公式サイト